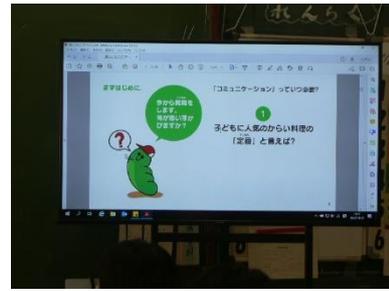


3年道徳「情報モラルと友情」S. J教諭

【授業の流れ】

(1) 身近な例を通して、自分と相手の考え方や感じ方の違いを理解する。

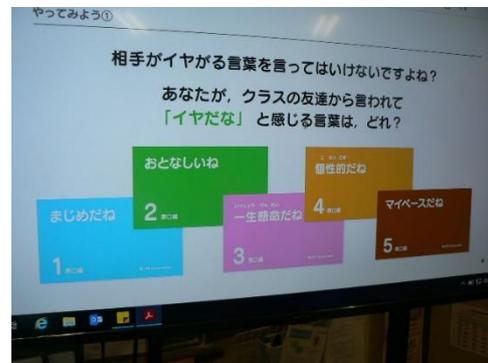
- ① 子供に人気の辛い料理って？
カレーライス、麻婆豆腐、辛ラーメン、キムチ
- ② 夜遅い時間って何時？
10時、11時、12時、1時、2時、3時



(2) 友達に言われて「イヤだな」と感じる言葉を一つ選ぶ。

- ① まじめだね ④ 個性的だね
- ② おとなしいね ⑤ マイペースだね
- ③ 一生懸命だね

※グループで意見交換しながら、人によって「イヤだ」と感じる言葉が異なることに気付く。



(3) 友達から届いた顔のスタンプでも、人によって捉え方が異なることに気付く。



司会が話し合いをリード



発表者

現在の「いじめ」の定義を簡単に言うと、その人が嫌だと思ったら「いじめ」になります。

そして、「いじめ」は3つに分類されると言われています。

(A) 故意あり…相手が苦痛を感じていることを認識しているケース

(B) 過失あり…相手が苦痛を感じていることを周囲の生徒は認識しているが、行為を行った本人は認識していないケース

(C) 故意・過失なし…相手が苦痛を感じていることを、周囲の生徒も行為を行った本人も認識できないケース

(C) については、「無自覚ないじめ」とも言われています。

大切なことは、悪意はなくても「無自覚ないじめ」をしている可能性があることを認識することです。

つまり、人によって感じ方が異なることを認識することになります。

そして、友人関係が崩れることを恐れずに、「嫌だ」「やめて」と言葉で伝えること。

その言葉をもう少しソフトにするなら「そんな言われ方はちょっと傷つくなあ…」という言い方もありですし、

自分で言えないなら、大人（教師）に相談したりする方法があります。

本校の今年度の重点目標 【道徳・特活の充実】

「所属集団をより良いものにするために、主体的に考え行動する生徒の育成」